

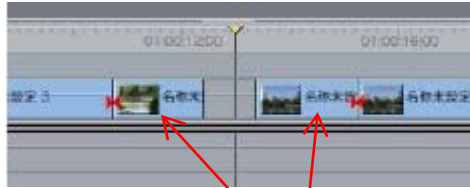
FxScript Trial

2D SwingBack

- ・ トランジッションの設定
- ・ プラグの機能

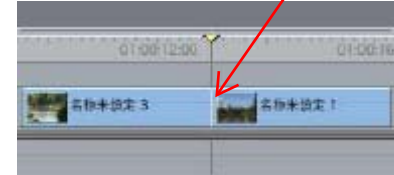
トランジッションの設定

まずプラグをライブラリー→Application Support→Final Cut Pro System Support →Plugins に入れる。
そしてFCPを立ち上げる。(FCPはプラグを起動したときしか読まない)

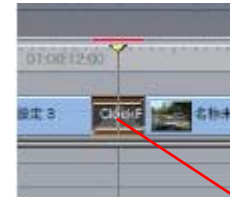


トランジッションは前後カットとも
のり白がないと効果が成り立たない
前後の絵のエフェクト中点でカットする

両サイドカットした絵を寄せたところ



フィルターがセットされたので
ビューアーのフィルターを押す。

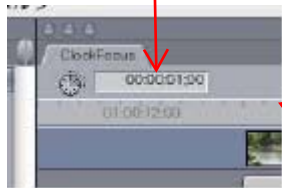


次にシーケンス上の映像をクリックして上
方のエフェクト内のトランジッションを
選びFxScript Trial内の効果を選択する。



選択した効果の midpoint がキャンパスに見える

エフェクト時間設定

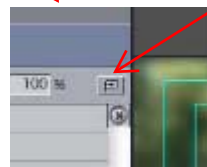


開始や終わりのタイミングの設定
通常あまり使われない



トランジッションの操作盤が現る

ここを押すと効果が逆に



FxScript Trial

2D SwingBack

2D SwingBackは画面の4つの頂点を回転軸として画面転換を行うトランジッション型のプラグで背景画と前半後半の3つの映像を同時に表示して場面転換を行うのが狙いです。詳しくはデモ映像をご覧ください。



場面転換時間の設定

ここで効果が逆になります。

コンビネーション動作の4つの選択があります。

背景映像入力
映像のオフセット調整 (イン点を設定します)
映像入力がない場合のカラー設定

ボーダー幅の設定
ボーダー色の設定

トランジッション時間 (上記の時間設定) が通常、早め、遅めで設定でき微妙に効果の動きに味がついて見えます。

クロップのオン/オフ切り替え (通常はオンです)

左右のクロップ幅の設定
上下のクロップ幅の設定

デモとご購入はココをクリック